

びわこ学園だより

Biwako Gakuen Newsletter

vol.

147

2024年(令和6年)
10月発行

もくじ

表紙	1P
各所の日常～2024年夏～	2～3P
職員紹介	
(2023～2024年度着任)	4～5P
びわこTopics	6～8P
職員History	
①医師・医療技術職編	9P
②看護師編	10P
③生活支援員編	11P
協力ありがとう	
(R6年4月～R6年7月)	12P



暑
か
っ
た
…
…
で
も、

熱
か
っ
た
「
び
わ
こ
の
夏
」
!



各所の日常～2024年夏～

皆でスタンプを押して
花火を描こう!



びわこ学園医療福祉センター野洲



第3病棟
ボウリング大会
ねらえスペア!



風船釣りに挑戦!

たいよう夏祭り
ハワイアの魅力に
皆さんウットリ～♪
マハロ!レイプアさん



かなえ夏祭り
江州音頭で
大盛りあがり♪



びわこ学園障害者支援センター

みなもでコンサート♪
プラバンづくり



びわこ学園医療福祉センター草津



夏祭り
ヨーヨー釣り・綿菓子・
江州音頭楽しんだよ



アウトレットへ外出
おいしい和食も
堪能しました!

知的障害児者地域生活支援センター



さくら하우스で
やまびこ周辺をお散歩中



ひまわり하우스の
アート活動



さくら하우스の
粘土活動

職員紹介

～2023年度から
2024年度着任～

びわこ学園医療福祉センター野洲



作業療法士／大槻 丈晃

- ①利用者さんの小さな動きや表情の変化などに気づくことが難しいですが、過ごしの中で見られる笑顔がとても素敵で元気をもらえます。
- ②失敗する事やできない事など多くありますが、利用者さんが笑顔で楽しく過ごし続けられるような支援が出来るように、いっぱい悩んで頑張りたいと思います。



看護師／澤村 愛

- ①スタッフの皆さんが優しく、困った時も相談しやすいことです。行ったケアで利用者様の表情が良くなった時は嬉しかったです。
- ②経験を積んで利用者様が快適に過ごせるように日々丁寧にケアを行っていきたくと思います。



生活支援員／ブスタマンテ・クリア・アルバイト

- ①利用者様と関わるのが楽しいです。七夕行事で利用者様と一緒に紙芝居をしました。緊張しましたが利用者様も喜んでくれて嬉しかったです。
- ②仕事がうまくできるようにもっと日本語を勉強して、利用者さんの事をちゃんと覚えて利用者さんに合わせたケアができるようになりたいです。



看護師／山本 果歩

- ①新卒で入ったので、技術も知識も全然なかったのですが、日々びわこ学園で過ごしていく中で、少しずつできる事が増えてきたことが今一番うれしい事です。
- ②まだまだ出来ないことが沢山あるので、経験を積んでできる事を増やし、利用者さんが少しでも過ごしやすい環境を作っていけるようにしていきたいと思っています。



看護師／中山 諒

- ①スタッフの方々がなんでも教えてくれるところ。利用者様の笑顔が見られるところ。
- ②少しでも色々なことを覚えて利用者様の役に立ちたいと思います。



看護師／矢幡 悦子

- ①新人で力を合わせて七夕会でハンドベルや紙芝居をしたとき、利用者さんの反応がとてもよく、力をもらいました。
- ②確実な看護技術を提供し、利用者さんの気持ちに寄り添えるようになりたいと思います。



生活支援員／望月 俊子

- ①少しずつ利用者様とコミュニケーションが取れるようになってきた事。
- ②利用者様の思いに寄り添い、少しでも笑顔が増える事を思いながら支援したいと思います。



生活支援員／ソリス・グライザ・ジェイン・サレス

- ①施設にリフターやミスト浴など、高度な技術があり、驚きました。利用者さんと一緒に販売活動（やすまるひろば）のイベントに参加しました。活動で作っている作品が売れて嬉しかったです。
- ②利用者様の好きなことやきらいなことなど、利用者さんのことをたくさん知りたいです。そして、信頼関係を築きたいです。



生活支援員／河崎 紳悟

- ①利用者様と関わっていく中で好きな事やこだわりなどを知っていき、笑顔などで反応して下さることがうれしいです。
- ②まだまだ出来ないこと、分からない事が多くありますが利用者さんに寄り添いより良い支援が出来るようになりたいと思います。



生活支援員／西野 かずえ

- ①職員の方々から詳しく利用者様の事を教えていただき、利用者様の事を分かっていくことが楽しいです。
- ②利用者様を理解する事は難しいですが、毎日を共に楽しく過ごしたいです。



生活支援員／ニデア・マリア・ロザリオ・アリカヤ

- ①利用者さんの事がだんだんわかってきて嬉しかったです。利用者さんと一緒に夏祭りに初めて参加してゲームをしたりコンサートをさいたりして楽しかったです。
- ②文化や言語の違いがあっても職員と利用者さんと良い関係を築きたいと思っています。



調理師／奥谷 愛

- ①いろんな食事形態で、人によってそれぞれ栄養の取り方があるんだなと思いました。
- ②皆さんに食事の時間が今まで以上に楽しみだと思って頂けるようにしていきたいと思っています。

今年度もはや後半。着任された皆さんは、4月以降定期的に研修を受けながら、配属部署で先輩職員と共に利用者支援に頑張っています。就職してこれまでの日々の中で感じていることやこれからについて綴ってもらいました。

【自己紹介について】

職種／名前

- ① (就職して) 印象に残っていること・うれしかったこと
- ② これからの抱負

びわこ学園医療福祉センター草津



看護師／村上 紫奈子

- ① 呼吸器をつけての散歩や気管切開をしておられてもプールに参加されるなど利用者さんが持っておられる可能性、表情、多くの反応を見せてくださった時嬉しく思います。
- ② 利用者さんが安全に楽しい生活ができるよう少しでも力になればと思います。私自身びわこ学園の看護を学んでいきたいと思っています。



看護師／下野 菜都子

- ① 利用者さんの生活の場でそれぞれが豊かな生活を送るお手伝いをさせていただき、様々な表情を見ることができ嬉しく思います。
- ② 利用者さんが伝えようとしてされていることをくみ取り、寄り添った看護ができるよう努めていきます。



看護師／山口 優陽

- ① 利用者さんとだんだんコミュニケーションが取れるようになり、色々な表情が見れるようになったことが嬉しく、印象に残っています。
- ② 利用者さんがどう思われているのか想像力を働かせ、思いに寄り添った看護が行えるように頑張っていきたいと思っています。



看護師／西 和彦

- ① 自己主張のできる利用者さんが多い病棟だと感じました。
- ② 自分が理想としている看護に、今後少しでも近づけるよう努めていきたいです。今のところ、思っているような看護は未だできていない状態です。



生活支援員／田中 菜々美

- ① 利用者さんとコミュニケーションが取れた時、笑顔が見られた時が嬉しくて印象に残っています。
- ② 慣れてないこともありますが、利用者さんの事を第一に一生懸命努めています。



生活支援員／山田 彩夏

- ① 張り切って活動に参加してくれていたり自分の持っている力を出して見せてくれたりと様々な表情が見られたことがとても印象に残っています。
- ② 利用者さんの安心・安全をまもりながら活躍できる場所を作っていきたいと思っています。又、利用者さんの力になれるよう頑張っていきたいと思います。

知的障害児者地域生活支援センター



相談支援専門員／林 耕平

- ① 事業所やご自宅への訪問を通して利用者の方々の生活を知り、それぞれの人生を垣間見られたことが印象に残っています。
- ② 日々の業務に慣れ、相談員として経験を積んでいきたいです。



看護師／松川 愛希

- ① 地域で暮らしておられる利用者さんたちと出会い、障害が重くても在宅でご家族と暮らしておられる姿が印象強く感じました。様々な事業所が利用者さんの生活を支えておられ、通所で関わることを嬉しく思いました。
- ② 利用者さんやご家族にとって日中安心して過ごせる場であるように努めていきたいとおもいます。



生活支援員／山木 美紀

- ① 利用者さんが新しい職員に興味を持って、関わってくださって名前を覚えてくださったこと。
- ② 利用者さん、保護者さんに信頼される。また安心できる職員になれるように頑張ります。



生活支援員／川崎 尚子

- ① 利用者さんの中に私という存在があると実感した時。
- ② 無理なく同じ歩幅で利用者も職員も一緒に「歩み」たい。



生活支援員／奥田 緑

- ① 普段表情の変化があまりない利用者さんが笑って活動を楽しんでいる姿が見られた時です。
- ② 利用者さんの理解を深めてより良い支援ができるように努めたいです。



生活支援員／佐藤 勘太

- ① 利用者さんとコンタクトが取れたとき。
- ② 力の限り頑張ります！

令和6年能登半島地震の被害に伴う 被災地支援を通じて

びわこ学園医療福祉センター野洲 生活支援員／豊福 真司



元日に発生しました能登半島地震につきましては、日々TVで被害状況や様子が取り上げられておりますが、びわこ学園にも滋賀県や滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会（知ハン協）を通して福祉施設への応援派遣の依頼がありました。

そこで、6月に加賀市にある錦城学園という障害者支援施設へ派遣職員として応援に行かせて頂きました。ここでは能登半島の穴水町にある精育園という被災施設から避難されている方達が1棟を借りて3月から避難生活を過ごされており、短い間ですが被災された方々の日常のお手伝いをさせて頂きました。

応援先となる加賀市は、施設や町並みは直接の被災地域では無かったのでニュースで聞くような凄惨な被害の様子を目の当たりにした訳ではありませんでしたし、避難されている利用者様たちは、元々の施設でいつもされていた仕事ができないことから、リビングでテレビを見るなど皆さんでゆったりと過ごされていました。

穏やかな避難生活の中を共に居させて頂きましたが、そこで働いている職員さん達も元々は被災された能登半

『医療的ケア児等学校保育医療福祉連携体制構築に向けた取り組み』 ～開設から2年目を迎えて～

滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆ 相談支援専門員／園田 千鶴



滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆも2年目を迎え、今年度重点的に取り組んでいることのひとつが『医療的ケア児等学校保育医療福祉連携体制構築に向けた取り組み』です。現在、市教育委員会と学校長にこの取り組みについてご理解いただいた学校を対象に『モデル的』に取り組んでいます。

今回は、先天性中枢性低換気症候群の疾患（気管切開術施行、適宜、人工呼吸器管理必要）がある地域の小学校に在籍するAさんのケースをご紹介します。Aさんのバックアッププランのニーズは、『安全にかつ楽しく水泳の授業を実施したい』と学校看護師や教員より挙げられました。そこで、そのニーズに応じたプランを作

成し、主治医の同席のもと学校の水泳の授業を実施しました。小学1、2年生の水泳授業の課題は、『水に慣れること』。他生徒さんは、プールに顔を付けるなどの取り組みをされていました。医師より「Aさんも顔を付けることができないかな」の言葉により、初めて学校のプールに入るだけでなく、水面に顔を付けることにもチャレンジできました。

現時点で、この取り組みに対する公的な特別な予算はなく、制度的な裏付けもありません。しかし、このような「しくみ」が必要です。医療的ケアを必要とする児童の教育保障の課題は多岐多様です。この課題を解決していくためには、教育分野、医療分野、福祉分野などの多職種が、各々の分野の専門性を互いに認め合い、理解し、医療的ケア児やその家族を支える者として、課題だけでなく『喜び』なども含めて共感しながら、共考し、役割分担しながら、具体的に実働していくことが大切です。今後もその繋がりを強化するとともに一役を担えるように取り組んでいきたいと思っております。



島方面に住まわれており、今回の避難を通じて利用者さん達と同様に加賀近辺まで移住してお仕事されている方ばかりでした。

「輪島や能登半島の方は道路も何も全く直っていない」、「元々住んでいた輪島の家の土地は瓦礫だらけになっているけど、今住んでるここ(加賀市)からは車でも片道4時間程かかるからなかなか輪島の家を見に行く事もできない」という深刻なお話を職員さんから伺いました。また、私達派遣職員に対して笑顔で色々と話しかけてきてくださる陽気な利用者さんとお話している中では、

「こっち(避難先である錦城学園)の方が良い」と話される理由を

私が聞いた時に「(被害にあった精育園は)地震、怖い〜」と答えてくださったその苦笑いのような表情には言葉に詰まるようなとても複雑な気持ちになったことは、今でも覚えています。

利用者さんも職員さんも、私には想像出来ないような辛い想いや葛藤があったのだらうと思いますが、職員さんは私達派遣職員に笑顔で世間話をしてくださったり、利用者さん達も私達を好意的に迎えてくださりながら、利用者さん同士で楽しそうに過ごされている姿を見て、人間の強さや優しさを感じる事のできた貴重な体験でした。今回関わらせて頂いた精育園の皆様は元より、今回被害に遭われた石川、能登半島地方の方々「あの日までの日常」が戻ってくるよう、復興が進むことを祈るばかりです。



「抱え上げない介護」推進事業所に推奨されて

知的障害児者地域生活支援センター・さくらはうす 生活支援員/堀尾 成史

さくらはうすは、2023年に滋賀県社会福祉協議会から滋賀県の障害分野の事業所では初めて「抱え上げない介護」推進事業所に推奨されました。

「抱え上げない介護」は、対象者の状態に合わせた福祉機器等の活用だけでなく、身体への負担が少ない環境作りや、ボディメカニクスを取り入れて介護時の身体の間違った使い方をなくすことで、利用者さんと介護者の双方にとって安心で安全な介護を提供し、利用者さんの可能性を広げることです。

さくらはうすでは、①事業所内で学習会を行う、②他事業所を対象に研修会を実施する、③職場体験に来た中学生や実習の大学生に福祉用具体験を行う、などに取り組んできました。今後も、推進事業所として、地域の事業所やご家族にも知っていただけるよう報告会や研修会を行っていきたいと考えています。



「ちょこらんどの6年のあしあと」 前編

びわこ学園障害者支援センター・多機能型事業所ちょこらんど
看護師/多久島 尚美

多機能型事業所「ちょこらんど」は、平成30年2月1日に草津市笠山で訪問看護ステーション「ちょこれーと。」に併設して開所しました。開所からすでに6年が経過し、児童発達支援を受けていた年少の子どもたちも、今では就学し、元気に放課後等デイサービスに通っています。

令和6年度の登録数は、就学前の児童9名（1歳児～）、放課後等デイサービスの児童が13名（学齢児）、保育所等訪問の児童9名となっています。それぞれ経管栄養、気管切開や人工呼吸器装着など医療的ケアがあり、重症心身障害の認定を持っておられます。

開所当初を振り返ると、インフルエンザの猛威により初日から登園ができないという状況がありました。2年目以降は新型コロナウイルスの影響でクラスター予防に多くのエネルギーを費やすことになり、スタッフも子どもたちも苦しい経験をしました。参観やお出かけもできず、お家で楽しんでもらうために「ちょこらんどチャンネル」をYouTube配信した時期もありました。

その騒動にも負けず、子どもたちはすくすく成長されて、初めての登園では泣いていた年少の子どもたちも、次第に母子分離ができるようになり、スタッフや友だちと楽しく過ごせるようになりました。最初は心配されていたお母さんたちも、今では「ちょこらんど」での楽しい様子を見て安心して預けてくださるようになりました。これには、訪問看護師が「ちょこらんど」を兼務していることも信頼関係を維持する上で大きいかなと感じています。

今回は、「命と安全を守る支援と子どもたちの成長」をご紹介します。



① 医師・ 医療技術職編

びわこ学園は病院機能と福祉機能を併せ持った法人であり、多様な職種の職員が利用者支援に携わっています。今年もそれぞれにびわこ学園で働く中で感じていることを綴っていただき、職種ごとでまとめさせていただきました。

1年目のときは、目の前のことにとにかく必死な日々だったような気がします(今でも焦っていますが(笑))。

先輩と利用者さんのやり取りを見て、利用者さんの瞬きや口の動きだけでなぜ意思疎通がとれているのだろう?と不思議に思うこともありましたが、今ではなんとなく分かるようになってきました。

また、利用者さんたちからは、多くのことを教わっています。色んな視点が必要で、自分だけの見え方だけでなく、他の人にはその人がどう見えているのか聞けることでその人の生活の幅が広がることも感じています。

リハの中だけでは短時間しか関われないからこそ一回一回大切にしつつ、たまには着ぐるみを着て利用者さんにも職員にも非日常も感じてもらい、その人の日常が当たり前のものだと思う、後悔のないよう日々を積み重ねていきたいと思っています。



(中村 瞳吾・理学療法士・4年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



私は常勤の整形外科医として医療部に所属しています。それまでは小児整形外科医として10年程度の間、外来診療、手術やリハビリテーションの診療経験がありました。

当初は利用者の方々が、様々な疾患を抱えながらも人生の最後まで安心して過ごせるようサポートするには、整形外科の経験だけでは不十分でした。この学園で行われるカンファレンスは、他科の先生に限らず多職種のみなさんの意見や協力が得られるので、私にとってはわからないことや足りないところを教えてもらえる、とてもありがたい環境でした。そして少しずつ経験を積むことができ、気が付けば6年が過ぎていました。

今では野球部にも所属しています。これからもよろしくお願いします。

(原田 有樹・医師・医療部長・6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲

センター草津の心理判定員として再就職をして6年目となりました。

今改めて感じているのは、これが正解と言い切れないことに対し続ける力の大切さです。

心理士の業務の中核は利用者さんの姿を発達的な観点から見立てることですが、発信する力が弱かったり持っている力を発揮しづらかったりする場合、発達心理学の知見をそのまま適応できないことが多々あります。また、一旦発達の評価をさせていただいても、本当に利用者さんの思いや願いに沿った支援に繋がるものを出せているのか悩み続けることもあります。わからないことを抱えながら利用者さんに寄り添っていくこと…「正解」というゴールが見えづらいからこそ共感力や知ろうとする姿勢が試されるように感じます。これからもゆっくりと丁寧に、利用者さんから学びながら成長していきたいと思っています。



(長谷部 昌子・心理判定員・6年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



びわこ学園に理学療法士として入社してから、早くも6年目を迎えることとなりました。この節目にあたり、これまでを振り返らせていただきたいと思っています。

年数を重ねる中で、多くの発見がありました。その中でも、利用者さん一人ひとりの笑顔や小さな成長を目の当たりにすると、この仕事を続けてきて本当に良かったと感じる瞬間が何度もありました。

また、日々変わらずに過ごされていた中で急変をされた方・徐々に体調が不安定になった方も多く、たくさんのお別れを経験しました。お別れをしてきた方々のことを思って、悲しい気持ちと共に、「皆さん一人ひとりがかけがえのない存在であり命は尊い。利用者さんのために自分にできることをやろう。」と心がけています。

これからも、利用者さんが少しでも豊かな生活を送るお手伝いができるよう、皆さまに寄り添いながら、より良い支援をしていくことを目標としていきます。

(根木 瑞樹・理学療法士・6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲

私が入職した頃はコロナ禍だったため面会や外出がない状況でした。3年
が経ち面会や外出が再開してきた中で、利用者さんのびわこ学園での暮らしを感じ
ることができてきました。

学園の中で過ごすことが多い利用者さんにとってご家族が面会に来られることで笑顔
になれることが多く、喜んでおられる姿をよく拝見します。外出するときには看護師
として同行させてもらい、普段見ない景色や食べないものを感じてもらえたことは、こ
の職場でのやりがいに思いとても嬉しかったです。

これからも利用者さんのびわこ学園での日々が少しでも豊かになるような、生活に携
われる看護を行っていきたいです。



(東野 航太・看護師・4年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



(青西 智紀・看護師・6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲

センター野洲に就職して丸5年が経ちました。

1年目の頃を振り返ると、なかなか仕事に慣れることができませんでした。新卒で就
職し、びわこ学園が初めての職場ということもあり、最初は緊張していたと思います。

今やっていることの次に何をしたら良いか考え込んでしまい、ただ立ち尽くしてし
まっていたことを思い出します。

そんな中でもチューターの方や先輩方にたくさん助けていただきました。また、同期
とのご飯会は良い気分転換になり、余裕がなかった1年目の自分の活力になっていまし
た。

今の自分があるのも、たくさんの人の支えがあつてのことだと思います。そのような
環境に感謝しながら、6年目の今でも初心を忘れずに頑張っていきたいと思いま
す。



センター野洲第2病棟に看護師として就職して6年目になります。私は以前、生活支
援員として働かせて頂いていた時期がありました。当時は何もわからず、利用者さんの
訴えを聞き取るのが難しく、何度も何度も聞き直して利用者さんに迷惑をかけていま
した。

それでも一生懸命に私に自分の想いを伝えようとしてくれる利用者さん達の姿に、と
ても心を打たれたのを思い出します。

言葉だけではなく、身振り手振りや目の動きなどを通して利用者さんの想いが伝わ
ってきたと感じる時や、その時に見せてくれる純粋な笑顔を見ると、この仕事をやっ
ていて良かったなと日々感じます。

利用者さんの高齢化に伴い様々な健康面の課題や生活の変化がありますが、看護師と
して利用者さんの想いや価値観を大切にしながら健康と生活をサポートさせて頂き
たいと思います。



(神戸 僚斗・看護師・6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲



(向井 朋子・看護師・4年目)
びわこ学園障害者支援センター

初めてびわこ学園に就職した時は、まだまだ未熟で、わからないこと・できないこと
ばかりで数年で学園から離れるという結果に…。一般病院で働いてからも「最後に働
くなら、もう一度びわこ学園の仕事に携わりたい」という思いもあり、「ちょこれ一
と。」に再就職することを決意。それからあつという間に正規職員4年目を迎えました。
“本人さんはどう思っているんやろ”と考え、模索することも多く、いまだに訪問
に行くとき緊張の汗が流れる私ですが、利用者さんの笑顔や、ご家族さんのやさしさに触
れると、自然と笑顔になり、元気をもらっています。

これからも利用者さんやご家族・家族に支えてもらいながら、利用者さんやご家族に
寄り添える関りができるよう、精進していきたいと思います。

③生活支援員編

びわこ学園で働き始めて早10年が経ちました。

以前の職種は営業職で、福祉業界での経験が無かったので、初めの頃は慣れない仕事でまさに無我夢中でした。そんな中、日々の介助や何気ない関わりを通じて利用者さんから「ありがとう」と言われたり、言葉が無くても「穏やかないい表情」をされる。こんなにもダイレクトに素直に気持ちを伝えられるか・・・と驚かされたのと、それは私にとって大きなやりがいにも繋がりました。

各々の利用者さんがその人らしい生活を送れるように、「本人さんはどう思っているんやろ」と問いかけながら関わってきました。利用者さんが楽しみのある、豊かな生活を送れるように！そのためには私自身が利用者さんとの関わりを楽しみながら、今後も支援していきたいと思えます。



(栗津 一博・生活支援員・11年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



びわこ学園に入職し、センター野洲第3病棟に配属され早6年が過ぎました。その前に2年間臨時職員として第2病棟でお世話になりました。

その間たくさんの利用者さんとの出会いと別れがありました。関わりに悩み、葛藤しながら利用者さんと過ごした日々でした。

その中で利用者さんとの関係が少しずつ構築され「占部さ～ん散歩行こう～」「占部さんとお手伝い行く～」と言われた時には涙が出るほど嬉しかったです。

これからも泣いたり笑ったりしながら利用者さんの生活に向き合い、共に月日を重ねていきたいと思えます。

(占部 知美・生活支援員・6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲

大学卒業後、滋賀に住まいを移して今年で16年目になります。大学生の時に、映画館で偶然観た「わたしの季節」という作品で、びわこ学園の存在を知り、なんか面白いような場所だなあと興味を持ちました。その後大病を患い休学し、療養期間に生きることに一人をよく考えていたのですが、その時にびわこ学園で生活する人々の事を思い出していました。自分が知りたいことはここにあるのかもしれないと勢いだけで飛び込み、障害福祉の世界は発見と驚きの連続で、毎日が慌ただしく過ぎていきました。だけど出勤時はいつも「今日も〇〇さんと会えるなあ」と思いながら職場に向かっていました。今思えば出会った人たちに支えてもらう部分のほうが大きかったと思えます。生きること、生活すること、その答えは未だ分からずではありますが、今後も考え続けながら一つ一つの出会いを大切に、生きていきたいと思っています。



(片岡 明子・相談支援専門員・4年目)
知的障害児者地域生活支援センター



皆様初めまして。今年の4月からケアホームともとの所属となりました、松本吏世と申します。以前はセンター野洲の第3病棟で勤務しておりました。利用者さん方、職員さん方に支えられたお陰で、無事4年目を迎えることが出来ました。入職してからの事を振り返ると、様々な思い出が溢れかえってきます。入職したての頃は業務や利用者理解など、覚えたり勉強したりと大変でした。しかし辛い時、大変な時はいつも先輩方が相談に乗って下さり救われていました。利用者さんの笑顔を見るとやる気に満ち溢れ、頑張ろうと思うことができました。一番印象に残っている事は、利用者さんの不穏な様子が続いた時に、どうしたら利用者さんが安心できる生活が送れるようになるかをグループで考え、病棟全体で共有し、取り組んだことによって利用者さんが穏やかに過ごすことが出来るようになりました。この時私はやりがいを感じる事ができ、利用者理解

の大切さを学ぶことが出来ました。病棟での経験を活かし、ケアホームともでも、利用者さんに寄り添った支援をしていきたいと思えます。次なる目標はダイエットで20kg痩せる事です。一読ありがとうございます。

(松本 吏世・生活支援員・4年目)
びわこ学園障害者支援センター

ご協力ありがとうございます

令和6年4月～令和6年7月 (敬称略)

寄付金

(寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。)

(法人)

今宿 功

(びわこ学園医療福祉センター草津)

匿名2件

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

内藤紀代子/小幡良雄



物品の寄付

(びわこ学園医療福祉センター草津)

食 品…草津市社会福祉協議会/石塚義之・千恵

日用品…草津市社会福祉協議会

その他…株式会社ワイズラインやわらソレイユ/上田和代/松林聖一/外山妙子/

南九州大学人間発達学部子供教育学科 山之内研究室

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

食 品…服部重正

日用品…種村悦子/久保清枝/社会福祉法人野洲市社会福祉協議会/小幡良雄

その他…公益財団法人河本文教福祉振興会

(びわこ学園障害者支援センター)

お菓子、野菜など18件寄付物品をいただきました。

ボランティアのみなさん

(びわこ学園医療福祉センター草津)

天理教江西支部/山科たんぽぽ/天理大学よふぼく会/すずらん/勝島三男/勝島百合子/尾浦与子/宇野郁子/

BushClover/田中智子/向吉昌代/前田五月/西尾悦子/奥田多恵/西川千晴/加藤美由紀/三宅美恵子/

田辺久子/枡谷美代子/西浦正一/加藤常満/石田登美子/近松清司/中村勝彦/舟木篤栄/池田はるか/

諏訪宗彦/元井芳嗣/呉 千嘉/片島逸平/西川芙蓉

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

近江金田教会/K-Iクラブ/更生保護女性会/天理教婦人会/野洲音訳グループさえずり/ニレトミ会/

野洲赤十字奉仕団/大津友の会/レイカ野洲/レイカディア大学園芸科OB/レイカディア大学園芸科44期A.B/

レイカディア大学園芸科45期A.B/水島たづ子/秋末文孝/秋末道子/安藤真紀/磯 春樹/上田順子/

田中規久子/林 政子/細川久子/加藤常満/川端しづ子/左部真千恵/辰市由香/東郷 勇/中富恵子/

堀田千景/森 紳司/元木恭子/元木隆治/木村真由美/枡谷幸一/枡谷美代子/八木洋子/河村明日香

(びわこ学園障害者支援センター)

笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代/Ka Papa Hula Lei Pua 大前雅美

その他の協力団体・会員

びわこ学園後援会 各施設等での事業補助



社会福祉法人
びわこ学園

発行責任者 理事長 山崎 正策
編集責任者 法人事務局 田處 浩吉
印 刷 近江印刷株式会社

法人事務局
びわこ学園医療福祉センター草津
びわこ学園医療福祉センター野洲
知的障害児者地域生活支援センター
びわこ学園障害者支援センター
びわこ学園長浜診療所

TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2
TEL 077-566-0701 〒525-0072 草津市笠山八丁目3-113
TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2
TEL 077-527-0494 〒520-0802 大津市馬場二丁目13-50
TEL 077-585-8040 〒524-0014 守山市石田町707
TEL 0749-53-2771 〒526-0845 長浜市小堀町122番1